

『暮らしの安心を一緒に探すお手伝い』

中島 亜希子 さん

なかじま あきこ

とかち生活あんしんセンター（帯広市東4条南18丁目13-1 コーポひらた1F3号）



●プロフィール

帯広南商業高校卒業。事務、営業職などを経て面接官。平成26年12月より現職。趣味は図画工作。マイブームは文房具。'65年帯広市生まれ。



今年4月1日に施行される生活困窮者自立支援法に先立ち、昨年12月、道の委託を受け開設された「とかち生活あんしんセンター」。さまざまな理由から仕事や生活に困っている人達をお手伝いする相談窓口だ。

ここでセンター長を務める中島さんは、職業紹介企業ウィルワークで長年面接官としてキャリアを積んだこの道のプロ。とはいえ、就労支援のみならず健康やメンタルの悩みなども含めた生活全般の問題解決に当たるとあって、「優秀な専門相談員をそろえ全力でバックアップします」と盤石の構えだ。ここでは主に、それぞれの困りごとに対応した支援プランを立て、各種関係機関への連絡や調整などを行う橋渡しの役割を担う。しかし、そのスタンスは決して上から目線のものではなく「同じ目の高さで考え、その心に寄り添いながら解決策を探していく」といったもの。これは相談者にとって何より心強いはずだ。

スタートから1ヶ月。まずは、センターの存在を広く皆さんに知ってもらおうと管内を奔走する毎日。相談会の開催も次々と決まり「これからますます忙しくなりそうです」と嬉しい悲鳴を上げている。「話を聞いてもらえて少し気持ちが落ち着いた」という声もちらほら聞こえ出し、ほっと安堵の中島さん。「限界ぎりぎりまで悩みを抱え込んでしまう前に、もっと気軽に足を運んでほしい」と話す。「あらかじめ知識としていろんな対処法を知っておけば、それが武器になるはず」とエールを送った。

本格始動まで残り2ヶ月。「相談の受け皿となる関係機関とのネットワークも更に拡げていきたい」と気合いも充分。ラストスパートに向けギアも一気に加速の勢いだ。